

2023年度 日本工学院専門学校											
情報処理科 システム開発コース											
ストラテジ・マネジメント											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	大野田 和弘			実務経験	有	職種	研修講師・コンサルタント				
担当教員紹介											
担当教員は、30年間、ICTビジネス系の専門学校に所属し、ICTの知識や技術、資格試験対策、マネジメント系の知識や演習などの講師経験を持つ。また、企業相談役・研修講師として、マネジメントや人財評価・育成などの研修を数多く経験している。さらに、異業種交流会や法人会、NPOの理事として、地域のビジネス活性化にも寄与している。											
授業概要											
この講義では、企業活動で利用されている企業会計や経営科学、関連法規及び、ソフトウェア開発手法や、プロジェクト技法術についても学習し、情報処理技術者としての基本的スキルを修得するものとする。また、経営目標を達成するための経営戦略や、ビジネス分野で利用される情報システムに関する産業や情報システムの効率的な運用管理手法についての理解を深める。また、経営戦略を具体化する情報システムの立案方法や、情報システムを理解し情報処理技術者としての見識を広げる。											
到達目標											
企業ではさまざまな戦略が立案され、それを実現するために多種多様な情報システムが利用されている。これから情報処理技術者として社会人になるにあたり、授業で学んだ知識を元に企業経営及びプロジェクトマネジメントの考えなどを理解する。また、情報処理業界の人材を育成するための指標として実施されている情報処理技術者試験（国家試験）の各種試験区分における基礎的知識の修得をすることによって、試験の合格も目指すものとする。											
授業方法											
各回の講義を通して、企業活動の目的から、経営管理やさまざまな物やお金の流れ、プロジェクトを成功させるためのプロジェクトマネジメントに関する手法などを学習する。また社会人として知っておかなければならない各種関連法規や経営科学、情報システムを適正に運用・管理していくためのルール設定や、体制の確立などに関しても学習する。授業内容の理解度を確認するため、小テストを授業時間内に実施するものとする。											
成績評価方法											
試験・課題 80% 試験と課題を総合的に評価する 小テスト 10% 授業内容の理解度を確認するために実施する 平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
I T戦略とマネジメント（インフォテック・サーブ）／授業内配布プリントなど											
回数	授業計画										
第1回	企業活動・会計 企業活動の目的、組織体系、経営管理及び、財務会計、管理会計を理解する										
第2回	経営科学 応用数学、OR、IE分析手法、QC手法、業務分析を理解する										
第3回	法務と標準化 知的財産権、セキュリティ関連法規、コンプライアンス、労働関連・取引関連法規を理解する										
第4回	経営戦略マネジメント 経営戦略手法、マーケティング、ビジネス戦略と目標・評価、経営管理システムを理解する										
第5回	技術戦略マネジメント イノベーション、技術開発戦略の立案、技術戦略マネジメント手法を理解する										

2023年度 日本工学院専門学校	
情報処理科 システム開発コース	
ストラテジ・マネジメント	
第6回	ビジネスインダストリ ビジネスシステム、エンジニアリングシステム、e ビジネスを理解する
第7回	情報システム戦略の概要 情報システム戦略、業務プロセスとソリューションビジネスを理解する
第8回	情報システム企画 企画プロセス・開発計画・要件定義・分析・調達を理解する
第9回	システム開発技術 システム開発プロセス、ソフトウェア実装プロセス、保守・廃棄プロセスを理解できる
第10回	ソフトウェア開発技術 ソフトウェア開発手法、ソフトウェア設計手法、開発プロセスを理解できる
第11回	プロジェクトマネジメントの概略 プロジェクトマネジメントの目的と考え方を理解できる
第12回	サブジェクトグループ プロジェクト統合、スコープ、タイムコスト、品質マネジメントを理解できる
第13回	サービスマネジメントの概要 サービスマネジメントの目的、システムの確立及び改善、ITILを理解できる
第14回	サービスマネジメントの手法 サービスの設計・移行、運用、ファシリティマネジメントを理解できる
第15回	システム監査と内部統制 システム監査の目的と考え方、ITガバナンスを理解できる